



【海外研修生受入事業】原子力プラント安全コースを開催しました

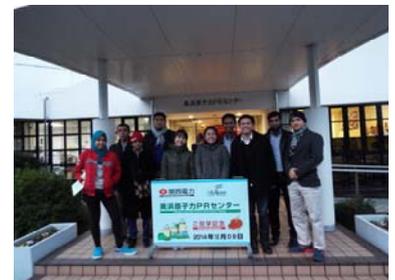
平成 26 年 11 月 17 日～12 月 12 日の間、アジア 9 か国（バン
グラデシュ、インドネシア、マレーシア、モンゴル、フィリピン、ス
リランカ、タイ、トルコ、ベトナム）の放射線利用・防護技術や原子
力基盤技術等の研究開発、発電炉や研究炉の開発などに携わる技術
者・研究者を対象とした原子力プラント安全コースを開催しました。

当研修では、講師に福井県内の原子力の実務経験者や大学などの専
門家を招き、原子炉施設などに係る安全技術（安全設計の考え方、保
守技術など）の講義や、原子力発電所の運転シミュレータを用いた実
習および県内の原子力関連施設の見学を行いました。また、各国のエ
ネルギー政策や原子力導入計画に関する情報を交換し、討論を行いま
した。

研修生からは、「メンテナンスをする際にどのように品質管理を行
っているのかを理解することができて良かった。」「発電所や原子力
発電施設を見学した際、実物を見ることができ、とても良かった。」
との感想をいただきました。



講義の様子



発電所関連施設見学
（関西電力 美浜発電所）

原子力グローバル人材育成セミナー2014を開催しました

平成 26 年 12 月 15 日～16 日の 2 日間、「原子力グローバル人材育成セミナー 2014」をエ
ネ研で開催しました。

このセミナーは、経済産業省の安全性向上原子力人材育成事業として、原子力安全等にかかる国際
感覚やコミュニケーション能力の向上を図るために実施したもので、外国大使館の大使や職員、国際
経験を有する日本人を講師として招き、世界と我が国を取り巻く原子力分野の動向、英米仏の原子力
政策と計画、リトアニアやマレーシアの文化や原子力等に関する講義やディスカッションを英語で行
いました。

セミナーには、国内のプラントメーカー、電力事業者、研究機関の職員等 37 名が受講したほか、
一部の講義には県内の高校生、教員 72 名や、県内外の大学生 10 名も参加し、積極的な意見交換が
行われました。参加者からは、「多くの国の状況を知ることができる
貴重な機会だった」等の意見が寄せられました。



開会あいさつ（旭理事長）



セミナーの様子

海外研究者の受入れが終了しました(原子力研究交流制度)

平成26年12月15日、文部科学省の原子力研究交流制度により、9月から3ヶ月の間、エネ研の研修生として受け入れていた、ベトナムのチャン・フン・ダオ病院サイクロトロンセンターに所属するディエンさん(Tran Van Dien)の修了式を行い、旭信昭理事長が修了証を交付しました。

ディエンさんは、研究開発部粒子線医療研究グループリーダーの久米恭主任研究員の指導のもと、高エネルギー陽子線の大気中での散乱の影響を実験と解析により評価し、実験により取得したデータと比較して、照射野の効率的な形成に関する研究を行いました。

本研究により、大気中における陽子線エネルギーの損失を評価し、高精度の陽子線照射が可能となったとともに、この成果は、エネ研で取組んでいる宇宙線の影響評価にも適用できるものです。

ディエンさんは、母国のチャン・フン・ダオ病院に戻り、放射線医学の臨床に従事することになりますが、ベトナムでは陽子線治療装置導入の計画があることから、エネ研での経験や研修で得られた多くの知識は、今後ベトナムでの陽子線利用研究に大いに役立つものと期待されます。



修了証交付式



実験を行うディエンさん

「ロボカップ・レスキューロボットリーグキャンプ in 福井」開催のお知らせ

福井県とエネ研は、エネルギー研究開発拠点化計画における「災害対応ロボットの技術開発の推進」の取組みの一環として、「ロボカップ・レスキューロボットリーグキャンプ in 福井」を下記のとおり開催します。

当日は、「ロボカップ」のレスキューロボットリーグに参加する研究者や学生が集まり、講演会や参加チームによるデモンストレーション、競技会を開催します。

また、小中学生等を対象とした「ロボット組立教室」や「ロボット操作体験」も実施します。皆さまのご来場をお待ちしております。

ロボカップ・レスキューロボットリーグキャンプ in 福井 (入場無料)

(日 時) 平成27年1月11日(日) 13:00~16:00
平成27年1月12日(月・祝) 11:00~16:00

(場 所) 福井県若狭湾エネルギー研究センター(福井県敦賀市長谷64-52-1)

(内 容) 11日(日) 講演会、デモンストレーション、ロボット組立教室、ロボット操作体験
12日(月・祝) 競技会、ロボット組立教室、ロボット操作体験

